

平成28年度 教科別採択教科書報告書

宮崎大学教育学部附属中学校

使用教科書一覧表

教科書種目	発行者	教科書名	教科書種目	発行者	教科書名
国語	光村	国語	音楽 一般	教出	中学音楽 音楽のおくりもの
書写	光村	中学書写	音楽 器楽	教出	中学器楽 音楽のおくりもの
社会 地理	東書	新しい社会 地理	美術	日文	美術
社会 歴史	東書	新編 新しい社会 歴史	保体	学研	新・中学保健体育
社会 公民	東書	新編 新しい社会 公民	技術	開隆堂	技術・家庭（技術分野）
社会 地図	東書	新編 新しい社会 地図	家庭	開隆堂	技術・家庭（家庭分野）
数学	啓林館	未来へひろがる数学	英語	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス			

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名（国語科） 分野等（ ）

	観 点	出 版 社 （光 村 図 書）
1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 表現力や理解力などの育成については、学習の目標に即した言語活動を設定し効果的に学習を行うことができるように構成し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では練習教材を設け、習得と活用の充実を図る工夫がみられる。</p> <p>(2) 思考力や想像力などの育成については、言葉をテーマに教材を配置し、学びの手順と身に付ける力のポイントを示すとともに、学習に用いる言葉の活用の充実を図ることで、言葉の力と考える力を身に付けるような工夫がみられる。</p> <p>(1) 単元の構成は、単元と教材冒頭に目標が設けられ、学習の流れを示し学習の見通しをもたせ、「学習を振り返る」で自己評価できるような工夫がみられる。</p> <p>(2) 単元数は全学年7単元で構成されている。単元はじめに「読むこと」が位置付けられ、他領域がバランスよく配列されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、練習教材で学習したことを授業で活用できるような工夫がみられる。巻末には領域ごとに関連資料が示され、学習の際に活用できるような工夫がみられる。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るという観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補足的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な内容の習得を図るために、前学年で学んだことを確認できるページを巻頭に示して系統性をもたせたり、読みの視点や学習のポイントをまとめた「学習の窓」を設けたりするなど、学びの手順を具体的に示すような工夫がみられる。</p> <p>(2) 活用する力を育てるために、説明の仕方を工夫する学習を行った後に、魅力的な提案をするための「話す・聞く」の題材を設定するなど、前後の教材に関連をもたせ既習事項を生かせるような教材配列の工夫がみられる。</p> <p>(1) 「話す・聞く」「書く」活動では、「学習の見通しをもとう」で具体的な参考例が提示されているとともに、「プレゼンテーション」「パネルディスカッション」や「職業カイド」「国語学習の報告書」など、様々な言語活動を通して生徒が主体的に取り組むことができるような工夫がみられる。</p> <p>(2) 「読む」活動では、言語活動の充実に向け、教材末の「学習」をもとに読み取った内容を「自分の考えをもとう」で文章にまとめて発表したり、短歌や随筆、人物を論じる文章を論じる文章を書いたり、メディアに情報を比較したりすることができるような工夫がみられる。</p> <p>(1) 発展的な学習として、「読む」以外の教材で「生活に生かす」「他教科に生かす」を位置付け具体的に示したり、コラムや「読む」教材ごとに読書案内を設けたりすることで、個に応じた指導が展開できるような工夫がみられる。</p> <p>(2) 補足的な学習・繰り返し学習として、巻末に説明的文章と文学的文章の学習用語を示したり、小学校六年生の漢字の練習を設けたりすることで、自主的な学習ができるようにするなど、個に応じた指導が展開できるような工夫がみられる。</p>
3 利便性の向上	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性については、教科書冒頭に「学習の見通しをもとう」を設け、どんな力をどの教材で学ぶかを視覚的に分かるようにし、主体的に学習計画を立てたり、振り返ったりするような工夫がみられる。</p> <p>(2) 生徒にとっての分かりやすさについては、様々な記号を使うことで、活動の種類、言語活動に使える表現、他教材との関連に生徒が気付くことができるような工夫がみられる。</p>

別紙 1 平成 28 年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (国語科) 分野等 (書 写)

	観 点	出 版 社 (光 村 図 書)
1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元(題材)目標を達成するために、単元(題材)の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 適切に表現する力を身に付けさせるために、習得するのに最適で、言葉として価値ある教材文字を厳選してある。また、行書学習については、発達の段階に合わせて、系統的に習得できるよう、行書に関する知識・技能を位置付けるなどの工夫がみられる。</p> <p>(2) 国語を尊重する態度を育てるために、巻末に手紙などの「日常の書式」や「活用のヒント」等を紹介することで、文字への関心を高める工夫をしている。</p> <p>(1) 単元の構成に関しては、見開きで「導入→理解→確認→活用→定着」の流れを明示するとともに、他の文字を書くときにも活用できるポイントを示すという工夫がみられる。</p> <p>(2) 単元の配列に関しては、全体を三つに分け、特に「基礎編」では小学校の学習内容を毛筆、硬筆ともバランス良く確認でき、中学校の学習へ円滑に移行できる工夫がみられる。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るという観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 基礎・基本の確実な定着を図るために、初めての行書では文字の歴史・特徴・筆使い方、実物大で細かい段階を取り入れ毛筆につなげる工夫がみられる。</p> <p>(2) 日常生活や他教科で活用するために、巻末の「資料編」において「日常の書式」「活用のヒント」の項目を立て、生徒が様々な場面で活用できるような工夫がみられる。</p> <p>(1) 言語活動の充実を図るため、「資料編」に「情報を集めて整理する」「情報を発信する」を設け、マッピングやリーフレット作成など主体的に学習に取り組むことができるような工夫がみられる。</p> <p>(2) 書写教材として、国語科教科書に掲載されている文章や短歌等を素材として取り上げ、楷書や行書で書く活動を設け、言語文化への理解を深めることができるような工夫がみられる。</p> <p>(1) 発展的な学習に関しては、各学年で楷書、仮名、行書の学習で学んだことをまとめ、さらには学んだ書体を使い分け、効果的に生かして書けるような教材の流れが工夫されている。</p> <p>(2) 補充的な学習や繰り返し学習に関しては、導入段階で楷書と行書の比較をし、より正確に書くための筆遣いの違いを比較したりすることができるような工夫がみられる。</p>
3 利便性の向上	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 学習効果や利便性に関しては、「目標」「学習の窓」、用いる筆記などを表す記号を使用し、展開が一目で分かるような工夫がみられる。</p> <p>(2) 分かりやすさに関しては、合本のよさを生かすために、学年間の中扉をなくして「基礎編」「学習編」「資料編」とし、3年間をみ通した指導が意識されるような工夫がみられる。</p>

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (社会科) 分野等 (地理)

	観 点	出 版 社 (東 京 書 籍)
1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等	(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 1単位時間を「導入→展開→まとめ」の問題解決的な学習過程で示し、「確認」マークを設定することにより学習内容の深化を図り、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得ができるように工夫されている。 (2) 各単元に効果的な資料や写真を示し、「えんぴつ」やイラストにより生徒の思考を助けるような工夫がされており、まとめ方を示した「調査の達人」のコーナーを設定することにより、思考力・判断力・表現力を育むことができるような工夫がされている。 (3) わが国の伝統と文化の特色や今日的な課題について、コラムなどの読み物を通して、よりよい社会の形成に主体的に参画しようとする態度が養えるように工夫されている。
	(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元(題材)目標を達成するために、単元(題材)の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。	(1) 写真やグラフを豊富に掲載し、学習内容が歴史的分野との関連を示すようになっており、発達の段階に応じた目標が達成できるような工夫がなされている。 (2) 「調査の達人」を設定することにより、調べ学習や資料読み取りのスキルが身に付くようになっており、個人の作業や話し合い活動がスムーズにできるよう生徒の主体的な学習を促し、興味・関心を喚起できるような単元の構成・配列になっている。
2 効果的な指導を行うための内容の充実	(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 「地理スキルアップ」「ワーク」、巻末の「用語解説」を示すことにより、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、学習内容の習得・活用がしっかりとできるように工夫されている。 (2) 「調査の達人」や本文を補足する豊富な資料により、これまでの学習内容を活用しながら、自分の力で探究学習ができるように工夫されている。
	(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るという観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 見開きごとにある「確認」マークにより、学習内容を自分の言葉でまとめることができ、具体的な例を示して言語活動の充実が図れるような工夫がされている。 (2) 「えんぴつマーク」により、豊富な資料の読み取りの仕方を示し、話し合い活動やディベートを行うことにより、思考力・判断力・表現力が自然に身に付くように工夫されている。
	(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。	(1) 「地理にアクセス」により関連した学習内容を示し、写真や多様な資料を掲載することにより、個に応じた学習ができるように工夫されている。 (2) これまでに学習した内容を振り返る「この章を確認しよう」や「深めよう」を設けることにより、発展的な学習や繰り返し学習ができるように工夫されている。
3 利便性の向上	学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 写真や図表が効果的に配置してあり、見開きごとに通し番号を付けるなど、生徒にとって分かりやすい内容になっている。 (2) 「分野関連マーク」により他分野との関連性を示し、資料を読み取りやすくする工夫がされており、小学校で学習した内容を振り返ることもできるなど、生徒が使いやすい内容になっている。

別紙 1 平成 28 年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (社会科) 分野等 (歴史)

観 点		出 版 社 (東 京 書 籍)
1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等	(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 見開き 1 単位時間で構成し、吹き出しや脚注を効果的に設定したり、豊富で効果的な資料や写真を取り入れたりすることで、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができるような工夫がなされている。
	(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元(題材)目標を達成するために、単元(題材)の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。	(1) 見開きに小年表をつけることで、学習する時代がどの時期なのか一目で分かるような工夫がされている。 (2) 各時間に学習課題を設定し、それに対応したまとめを設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組み、単元の目標を達成するための工夫が見られる。
2 効果的な指導を行うための内容の充実	(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 学習したことを振り返って確認するページを見開きごとに設け、習得した知識や技能を活用しながら疑問や課題を探究できるよう工夫がなされている。
	(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るという観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 各章末ごとに「私たち歴史探検隊」や「この時代の特色をとらえよう」を設定し、自分の言葉で記述する活動を取り入れることで、生徒の言語活動の充実を図る工夫がなされている。
	(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。	(1) 「歴史にアクセス」や「歴史スキル・アップ」を設定し、生徒自らが学習を振り返りながら学びを深めることができるよう工夫がなされている。 (2) 発展的な学びを示した「深めよう」を設定し、多様な学びが展開できるよう工夫が見られる。
3 利便性の向上	学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 吹き出しや各種マークを効果的に提示し、学習への道筋や視点を明確にすることで、生徒が使いやすくなるような工夫がなされている。 (2) 「やってみよう」「ためしてみよう」などを効果的に配置し、学習効果が高まるような工夫が見られる。

別紙 1 平成 28 年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (社会科) 分野等 (公民)

観 点		出 版 社 (東 京 書 籍)
1 教科目標の達成及び単元 (題材) の構成・配列等	(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。	<p>(1) 1 単位時間を「導入→展開→まとめ」の問題解決的な学習過程で示し、「確認」マークを設定することにより学習内容の深化を図り、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得ができるように工夫されている。</p> <p>(2) 各単元に効果的な資料や写真を示し、「えんぴつ」や「確認」マークにより生徒の思考を助けるような工夫がされており、「調査の達人」のコーナーを設定することにより、思考力・判断力・表現力を育むことができるような工夫がされている。</p> <p>(3) 環境問題や少子高齢化の問題など、持続可能な社会という観点から現代社会の課題を取り上げ、コラムなどの読み物を通して、よりよい社会の形成に主体的に参画しようとする態度が養えるように工夫されている。</p>
	(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元 (題材) 目標を達成するために、単元の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。	<p>(1) 写真やグラフに「分野関連マーク」を示すことにより、これまでに学んだ分野や学習内容がわかるようになっており、発達の段階に応じた目標が達成できる工夫がなされている。</p> <p>(2) 「公民にチャレンジ」を設定することにより、個人の作業や話し合い活動がスムーズにできるように工夫されており、生徒の主体的な学習を促し、興味・関心を喚起できるような単元の構成・配列になっている。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。	<p>(1) 「えんぴつマーク」を示すことにより、学習を深化させる作業や活動例を具体的に紹介しており、学習内容の習得・活用がしっかりとできるように工夫されている。</p> <p>(2) 「効率と公正」マークを付けることで価値判断の視点を示し、これまでの学習内容を活用しながら探究学習ができるように工夫されている。</p>
	(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといった観点から、どのような工夫がみられるか。	<p>(1) 見開きごとにある「確認」マークにより、学習内容を自分の言葉でまとめることができ、言語活動の充実を図るような工夫がされている。</p> <p>(2) 「公民にチャレンジ」により、学習内容の深化を図り、話し合い活動やディベートを行うことにより、思考力・判断力・表現力が自然に身に付くように工夫されている。</p>
	(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。	<p>(1) 「確認マーク」により発展的な学習を示し、写真や多様な資料を掲載することにより、個に応じた学習ができるように工夫されている。</p> <p>(2) これまでに学習した内容を振り返る「この章を確認しよう」や重要なキーワードをそれぞれ示すことにより、繰り返し学習ができるように工夫されている。</p>
3 利便性の向上	学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。	<p>(1) 写真や図表が効果的に配置してあり、生徒にとって分かりやすい内容になっている。</p> <p>(2) 「確認」「えんぴつマーク」「分野関連マーク」などにより、資料を読み取りやすくする工夫がされており、生徒が使いやすい内容になっている。</p>

別紙 1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (社会科) 分野等 (地図)

観 点	出 版 社 (東 京 書 籍)
<p>1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等</p> <p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元(題材)目標を達成するために、単元(題材)の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 学習内容に沿って「世界」と「日本」がしっかりと分けられており、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得ができるように工夫されている。</p> <p>(2) 学習内容に応じた資料を掲載し、活用する段階を明確にすることにより、思考力・判断力・表現力の育成と今日の社会問題が理解できるように工夫されている。</p> <p>(1) 「基本資料」と「テーマ資料」を順番に配置することで、生徒の自主的な学びを促し、発達の段階に応じた目標が達成できるように工夫がなされている。</p> <p>(2) 拡大地図、主題図などを多く取り入れ、生徒の主体的な学習を促し、興味・関心を喚起できるような構成・配列になっている。</p>
<p>2 効果的な指導を行うための内容の充実</p> <p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 大きくて見やすい写真や地図を豊富に活用することで、地図活用の技能の習得・活用がしっかりとできるように工夫されている。</p> <p>(2) 「資料さくいん」やテーマごとの資料を検索できることで、これまでに学習した知識や技能を生かして探究学習ができるように工夫されている。</p> <p>(1) 各地図の中に「注目したい記号」を示し、地域の特色を明確にさせることで、自分の言葉で表現する言語活動が充実できるように工夫されている。</p> <p>(1) 「日本の自然環境」のページを設定し、地形や気候から災害が起こる原因を考えさせ、自分の生活と関連付けた学習が展開できるように工夫されている。</p> <p>(2) 「テーマ資料」の中で教科書の学習内容と関連付け、テーマに沿った学習が展開できるように工夫されている。</p>
<p>3 利便性の向上</p> <p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 関連資料の場所がすぐに分かるような「ジャンプ」を活用することで、生徒にとって分かりやすい内容になっている。</p> <p>(2) イラストや絵記号により歴史的分野・公民的分野のいずれにおいても活用しやすく、生徒が使いやすい内容になっている。</p> <p>(3) カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインとなっており、全ての生徒が学習しやすい工夫がなされている。</p>

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (数学科) 分野等 ()

観 点		出 版 社 (啓 林 館)
1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等	(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 既習事項を振り返ったり、基本的な内容を確認したりできるように、別冊「MathNav iブック」や「ふりかえり」を設けている。 (2) 数学のよさが実感できるように、数学の話題を扱う内容や日常生活や社会と数学との関わりを考える内容が設定されている。
	(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元(題材)目標を達成するために、単元(題材)の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。	(1) 日常生活に関する課題や見通しをもたせる文言を設けたり、本冊で学習した内容を別冊の「学びをいかそう」を設定したり、主体的に促すための工夫がみられる。 (2) 「問」や「基本のたしかめ」で基礎基本の定着を図るとともに、「自分のことばで伝えよう」など活用する場を設けるなど、単元の目標を達成できるように工夫されている。
2 効果的な指導を行うための内容の充実	(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 基礎的・基本的な学習内容の習得ができるように、単元末に、基礎・基本を確実にするための「基本のたしかめ」と習熟のための「章末問題」を設定している。 (2) いろいろな場面で活用するよさに気付くことができるように、「数学展望台」や別冊の「学びをいかそう」などを設ける工夫がされている。 (3) 探究的な学習活動ができるように、学んだことを生かして方程式の解き方を考えたり、作図をしながら図形の性質を考察したりするなどの課題を設ける工夫がされている。
	(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るという観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 思考力や表現力を伸ばす工夫ができるように、考え方を述べたり、解決方法が様々ある課題を取り入れたりするなど、言語活動を充実させる工夫がされている。 (2) 思考力を高めるノート指導に関して、自分の考えを深めるために他者の考えと比較することをまとめた記述例「ノートを工夫して、学習に役立てよう」を示す工夫がなされている。
	(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。	(1) 発展的な学習として、単元末に「千思万考」、巻末に「数学広場」が設定されている。補充的な学習として、章末に「基本のたしかめ」「章末問題」を設け、問題ごとに学習内容とのつながりがわかりやすく示され、個に応じた学習ができるように工夫されている。 (2) 本文中に「ふりかえり」、巻末に「くり返し」、別冊では、学習内容と既習事項とのつながりを意識しながら、繰り返し学習ができるように工夫されている。
3 利便性の向上	学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 学習効果や利用上の利便性を高めるために、生徒に身近な事象を用い、作業的・体験的な活動を通して、興味・関心が高められるように工夫されている。 (2) 生徒にとって分かりやすくするため、学習の場面に含まれる見方・考え方や数学的な思考を広げていく課題設定の視点を「見方・考え方」で示し、生徒が意識して確認できるように工夫されている。

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (理科) 分野等 ()

観	点	出版社 (啓林館)
1 教科目標の達成及び単元 (題材) の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元 (題材) 目標を達成するために、単元 (題材) の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 問題解決・探究の流れがわかりやすく構成されており、目的意識をもって観察・実験に取り組み、科学的思考を促すことができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 適所に、根拠をもって予想する場面「予想してみよう」、結果や事実をもとに考える場面「考えてみよう」、クラス内で話し合い、協働学習する場面「話し合ってみよう」などを設定し、思考力、判断力、表現力などを培う工夫がなされている。</p> <p>(1) 各章の導入において、日常生活に関係する身近な話題を取り上げ、子どもたちの興味・関心を高め、主体的な学習を促すための工夫がみられる。</p> <p>(2) 各所に興味を引くコラム「ぶれいく t i m e」を設け、部活動と理科を結びつけた「部活ラボ」、科学の発展に貢献した人を紹介する「科学偉人伝」など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>(3) 各章の導入で「ふり返り」を設け、小学校や下位学年での既習事項を確認し、スムーズに新たな学習に取り組める工夫がみられる。また、「なるほど」で間違いやすい事項などを正しく理解するための情報を提供するなど、発達段階に配慮した工夫がみられる。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 別冊「マイノート」を設け、知識の定着を図ることができるような工夫がみられる。</p> <p>(2) 「きみも科学者」では研究の手引きとなる資料を構成し、知識の活用の手本となると同時に生徒の個性が活かされるよう多様な考え方や方法を提示することができるような工夫がなされている。</p> <p>(3) 観察・実験を扱っているページをめくると、その観察・実験の考察や結論が出てくるよう工夫されていて、探究的な学習活動が展開しやすいつくりになっている。</p> <p>(4) 各単元末の「広がる世界」では、社会状況を反映した話題、最新の科学技術、防災・減災、エネルギーの話題など取り上げ、単元の学習を広げ、深めることができるような工夫がみられる。</p> <p>(1) 別冊「マイノート」の「サイエンスアプローチ」において、作図や読解、記述の作業をした後に、友人と話してまとめる、教え合う、学び合う展開になるよう言語活動を充実させることができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 「話し合ってみよう」「理科における話し合いと発表」等の豊富な場面設定により、思考の広がりや深まりとともに、判断力、提案力の基礎が培われるように工夫がなされている。</p> <p>(1) 別冊「マイノート」の「ステップアップ」において、「基本のチェック」、「力だめし」、「学年末総合問題」など基本の確認から発展的な学習まで身に付くよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 単元末の「学習のまとめ」、別冊「マイノート」の「用語の確認」で青色シートを利用して繰り返し学習できるような工夫がなされている。</p>
3 利便性の向上	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 別冊「マイノート」において、「用語の確認」「観察・実験の確認」「要点の確認」の3つの確認で基礎・基本が定着でき、生徒にとって使いやすく、分かりやすい工夫がなされている。</p> <p>(2) 「サイエンス資料」や「もくじ」「さくいん」や文字の大きさや写真の使い方など、読みやすく使いやすい内容・デザインになるように工夫されている。</p>

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名（音楽科） 分野等（一般）

観	点	出版社（教育出版）
1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 音楽を愛好する心情と感性を育てるために、3年間を通して系統的に学習が進められるように編集されており、音楽の基礎・基本となる学習内容の精選及び焦点化の工夫がなされている。また、写真やイラスト、文章資料等が抱負に掲載され、生徒の興味・関心を高めながら、学習活動の充実を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) 各学年とも「音楽の要素を捉えながら」「様々な音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」の三つの柱で構成されており、それぞれに表現教材・鑑賞教材をバランスよく配置するよう工夫されている。</p> <p>(3) 音楽文化についての理解を深めることに関しては、柱の一つである「様々な音楽文化」で、1年生では「日本とアジア」、2・3年生では「日本と世界」として取り扱っており、系統的な学習の中でさまざまな音楽文化を享受できるよう工夫されている。</p> <p>(4) 我が国で長く親しまれている歌を「日本の歌 みんなの歌」という共通のタイトルで扱っており、作者のメッセージなどを掲載し、歌詞や楽曲の背景などにも触れられるよう工夫されている。</p> <p>(1) 発達の段階に応じた目標を達成するために、小学校において活用した楽曲を、さらに発展的な教材として取り扱うことにより、義務教育9年間で一貫した音楽学習が行われるような配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 各教材には、学習のねらいに即した学習のポイントが二つずつ示され、生徒が主体的な活動を展開していく上で「めあて」となったり、評価の指針となったりするよう工夫されている。</p> <p>(3) 生徒の主体性や創造性を育む上で、特に大切となる創作の学習を、「音のスケッチ」で取り扱っており、歌唱・器楽・鑑賞の音楽活動と関連付けることにより、無理なく適切に学習活動が展開できるように工夫されている。</p> <p>また、活動ごとに「～してみよう」という言葉で生徒の意欲を喚起するとともに、教科書に直接書き込みながら学習が進められるよう工夫されている。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 学習活動の展開については、どの楽曲にも「学習のポイント」が明示してあり、分かりやすく学習を進める記述と配置の工夫がみられる。</p> <p>(2) 音楽の要素や仕組みの習得については、楽曲ごとに記載されたり、巻末の折り込みページ「楽典」でまとめられたりして、繰り返し学習できるように工夫されている。</p> <p>(3) 創作の学習については、3年間を見通して器楽分野と関連付けたり、系統性をもたせたりすることで、習得した知識・技能が活用しやすくなる工夫が図られている。</p> <p>(4) 「チャレンジ」や「発展」のページを設け、習得した知識・技能を活用し探究の活動ができるように工夫されている。また、イラストの吹き出しを活用し、生徒が興味・関心をもてるように工夫されている。</p>

	<p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 音楽を形づくっている要素と楽曲が結びつくように、「聴き比べてみよう!」「伝えてみよう!」のコーナーを通して、自分の考えを書いたり、伝えたりすることができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 日本語の美しさを感じることでできる曲を、共通教材である「日本の歌 みんなの歌」や巻末の「歌のアルバム」の中で、旋律と歌詞や写真などを組み合わせたり、作詞者や作曲者の言葉を掲載したりすることで、日本語の美しさやその背景を味わうことができるような工夫がなされている。</p>
	<p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 発展的な学習については、「発展」のページに位置付けられ、理科などとの関連から、音の物理的な性質についての原理や音の三要素（音量・音高・音質）について学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>(2) 補充的な学習については、「伝えてみよう」「聴き比べてみよう」などのコーナーを活用して、学習の振り返りや補充ができるように工夫されている。また、声や身近な楽器を取り入れた活動を行うことにより、音楽を深く味わわせるとともに、個に応じた指導への工夫がなされている。</p> <p>(3) 繰り返し学習については、「Let's Sing!」「Let's Try!」のページを設け、学年に応じて段階的・発展的に、反復して取り組むことができる工夫がみられる。</p>
<p>3 利便性の向上</p>	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 教科書の大きさはA B変型判であり、三つの柱をもとに学習内容や各教材との関連が把握しやすく、学びやすい構成とする工夫が見られる。各学年とも巻頭に、著名な音楽家からのメッセージを載せ、音楽の魅力を感じ取らせるとともに興味・関心をもたせるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 写真やイラストが適切に配置され、文字の大きさや色使いにも配慮があり見やすい工夫がなされている。各学年の鑑賞ページや巻末の折込ページにはテーマに沿った写真が見開きで数多く掲載され、わかりやすい資料の工夫がなされている。</p> <p>(3) ページ左側には各教材二つの活動のポイントが表示され、「～しよう」と生徒たちに呼びかける形で示すことにより、学習意欲を喚起するよう工夫されている。また、学習のめあてや評価の手だてとすることができ、学習活動を展開しやすい工夫がなされている。</p> <p>(4) ページ右側の余白に楽曲で使用される用語や記号が大きく掲載されており、「楽典」の確認や理解がしやすいように折込ページを巻末に設け、常に参照しながら学習することができるように工夫がなされている。</p> <p>(5) 鑑賞ページの爪見出しには、色分けした年表が示され、分かりやすい工夫がなされている。</p> <p>(6) 学習内容の補足説明や学習活動を提示する役割をもった3人のキャラクターが必要に応じて登場し、吹き出しの活用により学習内容が理解しやすい工夫がなされている。吹き出しは色分けされ、文字の大きさも見やすい工夫がなされている。</p>

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名（音楽科） 分野等（器楽）

観	点	出版社（教育出版）
1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 学習指導要領の目標及び内容に則り、3年間を通して系統的に学習が進められるように、和楽器を含めた7つの楽器群でまとめられ、編集の工夫がみられる。</p> <p>(2) 音楽文化についての理解を深めることに関しては、演奏家のコメントや写真を効果的に掲載することにより、生徒の興味・関心を引き出し、豊かな表現活動が行われるよう工夫されている。また、平易な楽曲からの配列や、楽器の選択ができるように示すことにより、生徒の技能を伸ばしていけるように工夫されている。</p> <p>(1) 楽器の基礎的な知識や奏法をまとめた「演奏の仕方を身につけよう」と、身に付けた奏法を生かした表現をねらった「合わせて演奏しよう」や「名曲旋律集」で構成され、器楽と鑑賞や創作の領域を横断した配列の工夫がなされている。</p> <p>(2) 「合わせて演奏しよう」では、平易で親しみやすい楽曲を取り扱う「Let's play!」と、難易度の高い楽曲を取り扱う「Let's try!」に分けられ、発達の段階に応じて学習を広げられるよう工夫されている。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るとい観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 諸楽器の演奏の仕方について、効果的に写真を用いて分かりやすく解説し、生徒の興味・関心を高め、基礎的な奏法を確実に身に付けることができるように工夫されている。</p> <p>(2) 「Let's play!」「Let's try!」の合奏曲のページを通して、生徒の実態に応じて段階的に取り扱える楽曲を配置し、習得した演奏技能を活用して合奏できるように工夫されている。</p> <p>(1) 言語活動については、器楽と鑑賞を関連付けた楽曲を取り扱う中で、紹介する文章を書くという活動が展開できるように工夫されている。</p> <p>(1) 発展的な学習については、「発展」のページに位置付けられ、コンピュータを用いて制作された音源が作品として完成するまでの様子や、工作による和楽器（横笛）づくりに付いて学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>(2) 補充的な学習については、「合わせて演奏しよう」（「Let's Play!」「Let's try!」）「名曲旋律集」を活用して、学習の振り返りや補充ができるように工夫されている。基礎的な演奏技能を生かした活動を行うことにより、レパートリーを広げることができるなど、個に応じた指導への工夫がなされている。</p> <p>(3) 繰り返し学習については、「演奏の仕方を身につけよう」において、楽器の基本的な奏法の写真や運指表、読譜の仕方などが表示されるとともに、段階的に反復して取り組むことができる工夫がみられる。</p>
3 利便性の向上	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 教科書の大きさは、A B変型判であり、巻頭口絵と最終ページに、国内外で活躍する演奏家の「楽器を奏でる喜びや中学生へのメッセージ」を載せ、演奏することへの興味・関心がもてるような工夫がなされている。</p> <p>(2) 各楽器とも、「姿勢とかまえ方」や基本的な奏法について、写真やイラストとともに説明文が掲載されており、分かりやすく見やすい工夫がなされている。</p> <p>(3) リコーダーの楽曲掲載ページ左右の余白には、進出運指を示し、生徒が演奏しやすい工夫がなされている。</p> <p>(4) 二カ所の折込ページでは、数多くの和楽器写真や楽器の運指、コード表が見開きで提示され、見やすい工夫がなされている。</p>

別紙 1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名（美術科） 分野等（ ）

観	点	出版社（日本文教出版）
1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 単に知識や技能の習得だけではなく、感性を豊かにするために、「学びのねらい」や「POINT」の罫を設けたり、道徳との関連を図ったりするなどの工夫がなされている。</p> <p>(2) 確かな技能や様々な能力が習得できるように、学習する事項を整理して丁寧な解説を付したり、分かりやすい題材としてまとめたりするなどの工夫がみられる。</p> <p>(1) 題材の設定と配列は、生徒の学習しやすさに配慮されている。「自分」「他者」「生活・社会」「自然・環境」の枠組みで整理し、発達の段階に即して題材をバランスよく配列している。これらの題材に取り組む中で、今まで気付かなかった自分や新しい自分を発見し自己が成長するよう工夫がなされている。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 4観点の学びのねらいを示すとともに、インデックスで分野（絵や彫刻など、デザインや工芸など）と領域（表現、鑑賞）を示しており、教師、生徒ともに授業のイメージを具体的にもつことができるよう工夫がなされている。</p> <p>(1) 形や色彩を通して、感じたことや表したことなどを言葉で伝え合うなど、言語活動を育むことを大切にしている。掲載作品の作者の言葉などを掲載することで、言語に関する能力の育成を図ることができるように配慮がなされている。また、グループで話し合い、自分の考えによって批評したり（クリティカル・シンキング）、発表し合ったりする言語力とコミュニケーション能力の育成を図ることができる題材の設定や、掲載作品の選択に配慮がなされている。</p> <p>(1) 発達段階を考えた3分冊（1年、2・3上、2・3下）の構成と小学校（図画工作）及び高等学校（美術・工芸）とのつながりを考えて編集されている。図画工作で表現や鑑賞する喜びや楽しさを味わってきた子どもたちが、さらに能力を伸ばしていけるような構成になるよう工夫がなされている。</p>
3 利便性の向上	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 生徒にとっていつまでも使える教科書であるために、製本の耐久性や使用インクなどを十分考慮されている。また、紙面では安全に関する注意点をマークで示すなど、生徒の安全面に配慮した装丁になっている。道徳に関連するページには、「道徳マーク」と学年段階の「道徳の内容」を考慮した文章を示し、教科の関連を図りながら学習できるよう工夫がなされている。</p>

別紙 1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名（保健体育科） 分野等（保健体育）

観	点	出版社（学研教育みらい）
1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等	(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 1 単位時間、「学習の目標」を設定し、「導入→展開→まとめ」の問題解決的な学習過程で示している。また、「キーワード」の欄を設けることにより学習内容の深化を図り、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得ができるように工夫されている。 (2) 単元ごとに「章の扉」を設け、学習の見通しをもたせている。また、「章のまとめ」では、習得した知識を確認したり、活用したりできるように工夫されている。
	(2) 生徒の主體的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元（題材）目標を達成するために、単元（題材）の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。	(1) 保健編と体育編の2部構成となっており、保健編は4章、体育編は3章で構成されている。各単元、小学校で学習したこと、高校で学習することだけでなく、単元で学習する内容を明確に掲載するなど体系的なつくりになっている。 (2) 写真やグラフに「考える」「判断する」などのマークを示すことにより、これまでに学んだ分野や学習内容がわかるようになっており、発達の段階に応じた目標が達成できる工夫がなされている。
2 効果的な指導を行うための内容の充実	(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 「キーワード」の欄を設けることにより学習内容の深化を図り、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得ができるように工夫されている。 (2) 1 単位時間のまとめには、「活用しよう」「エクササイズ」の欄を設け、探究的な学習が進められるような工夫がされている。
	(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 巻頭に「学習方法」を示しており、ディスカッションやブレインストーミングの行い方を説明し、言語活動の充実を図れるよう工夫されている。 (2) 「説明する」「表現する」「意見を出し合う」などのマークを使用し、言語活動を含む活動であることを明記している。
	(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。	(1) 1 単位時間のまとめには、「活用しよう」「エクササイズ」の欄を設け、探究的な学習が進められるような工夫がされている。 (2) 章末に「探究しようよ！」に発展的な課題を示し、発展的な学習が進められるような工夫がされている。
3 利便性の向上	学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 章末に「章のまとめ」を設け、「用語の確認」「基礎の完成」「活用の問題」と学習効果の確認を行う工夫がされている。 (2) ページ横に基本用語の説明を示し、より分かりやすくなるような工夫がされている。

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (技術・家庭科) 分野等 (技術分野)

観	点	出版社 (開隆堂)
1 教科目標の達成及び単元 (題材) の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元 (題材) 目標を達成するために、単元 (題材) の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>○ 小單元ごとに「学習の目標」や、内容理解を確認するための「ふり返し」が設けられており、基礎・基本の内容と発展的な内容が明確に区別され、学習内容の精選及び重点化ができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 技術を適切に評価し活用するよりよい能力と態度を育てるために、各内容の最終章に、技術と環境、経済、社会との関わりを位置付け、「学習のまとめ」で、技術を評価し、生活に生かそうとする態度を育む工夫がなされている。</p> <p>○ 題材の目標を達成するために、教科書全体を通して、学習の意欲付けや動機付け、基礎・基本の定着、学習内容の生活での評価・活用を重視した構成にする等の工夫がなされている。</p> <p>○ 生徒の主体的な学習を促すために、「学習の見通しをもとう」の頁が設けられ、学習の進め方を示し、「課題の設定→計画→実行→振り返り→改善」等の道筋の立った手順を踏むことの大切さを意識させるための工夫がなされている。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習等、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>○ 知識・技能の習得を図るために、分かりやすい写真や図表が掲載され、内容 A・B・C・D に小課題を設定することにより、基礎的な内容の理解を深めたり応用したりする力を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 知識・技能を活用するために、内容 A・B・C・D の終末に「生活に生かそう」のコーナーを設け、学んだ知識や技術を生活に活用できるように工夫がなされている。</p> <p>○ 問題解決能力を育成するために、数多くの実習例により実態に応じた学習活動を通して、系統的に問題を解決し、内容 A・B・C・D の終末で探究力を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 技術分野の指導の充実を図るために、世界や日本の先端技術、日本の伝統的な技術、安全教育、環境教育等の横断的な学習との関連に工夫がなされている。</p> <p>○ 言語活動においては、「考えてみよう」や「話し合ってみよう」のコーナーで、課題を話し合わせながらよりよい考えを導かせることにより、言語活動の充実を図る工夫がなされている。</p> <p>○ 技術分野特有の言語活動を充実させるために、内容 B に実習例の詳しい回路図、内容 C に実習例の栽培ごよみ表示、内容 D にフローチャートの色分けの工夫がなされている。</p> <p>○ 個に応じた指導を行うために、「発展」コーナーや「探究」「?」マークで学習の内容を深め、応用したり広げたりするように工夫がなされている。</p> <p>○ 個に応じた指導を行うために、同一規格の板材で製作できる実習題材を数多く掲載し、生徒が学習の内容を選択しやすい工夫がなされている。</p>
3 利便性の向上	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>○ 内容 A・B・C・D を写真で表現することによって、学習への興味・関心を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 目次は学習内容ごとに色分けし、学習単元等も同色で統一されており、奇数頁に爪見出しを設けることで検索がしやすい工夫がなされている。</p> <p>○ 図、写真、イラスト等が多数掲載され、「参考」等の文章資料や図表も豊富で整理されている。また、余白には工具や豆知識も表示されており見やすく分かりやすい工夫がなされている。</p> <p>○ 「参考」「リンク」「豆知識」「環境」等のマークを使用し、他の学習内容と関連させ、基礎的・基本的な知識・技術が確実に習得できるような工夫がなされている。</p>

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (技術・家庭科) 分野等 (家庭分野)

観	点	出版社 (開隆堂)
1 教科目標の達成及び単元 (題材) の構成・配列等	<p>(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元 (題材) の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 「学習の目標→話し合ってみよう→本文」と授業展開の流れを示し、学習の見通しがもてるように工夫している。</p> <p>(2) 題材の「ふり返り」、領域の「学習のまとめ」で自己評価することで、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得が確認できるように工夫している。</p> <p>(3) 領域ごとの「生活に生かそう」では、具体例やヒントを設定することで、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度が育成できるように工夫している。</p> <p>(1) ガイダンスでは、題材ごとに写真を掲載し、小学校の学習内容のふり返りや、中学校3年間の学習の見通しがもてるように工夫している。</p> <p>(2) 学習指導要領の内容に合わせて4つの領域を配置し、生徒の発達の段階に合わせた探究や発展を取り上げることで、関心をもって意欲的に取り組めるように工夫している。</p> <p>(3) 「人やものとかかわりながら学ぼう」で、生活に生かす学習のプロセスを設けることで、これからの学び方を示唆し、生徒の主体的な学習が促せるように工夫している。</p>
2 効果的な指導を行うための内容の充実	<p>(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。</p> <p>(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 学習の展開である本文を簡潔かつ明確に記述し、「参考」などを随所に設け、基礎的・基本的な知識及び技術を習得することができるように工夫している。</p> <p>(2) 「持続可能な社会」と各領域との連携を強化することで、自己実現にとどまらず、グローバルな視点で学んだことを生活の場で活用できるように工夫している。</p> <p>(3) 「生活の課題と実践」では、生徒の興味や実態に合わせて生活に活かせるよう多種多様な課題例を提示し、家庭での実践に取り組めるように工夫している。</p> <p>(1) 生活の課題を解決したり考察したりする場面を重視し、実習等のふり返りやまとめるための課題を設定することで、言語活動の充実を図る工夫がなされている。</p> <p>(2) 言語活動の進め方のプロセス図を掲載し、ロールプレイングの方法やレポート例、手紙の書き方などの手立てを豊富に示し、表現活動や話し合いを意識した学習が充実するような工夫がなされている。</p> <p>(1) 発展的な学習内容として、「災害にあったときの食事は？」や「環境問題への挑戦」などの発展例を掲載し、興味をもった生徒が必要に応じて取り組めるように工夫されている。</p> <p>(2) 実験例の掲載や、各章にある「ふり返り」など、作業の流れや手順、進め方を図式化して視覚的にわかりやすく表現し、補充的な学習が充実するような工夫がなされている。</p> <p>(3) 生徒が「リンク」のマークを活用し、他の学習項目や技術の習得、他教科や小学校の既習事項を繰り返し学習できるように工夫されている。</p> <p>(4) 「参考・探究・発展」や「豆知識」のコーナーで、さらに生徒の興味・関心を高めるための工夫がみられる。</p>
3 利便性の向上	<p>学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。</p>	<p>(1) 生徒にとって親しみやすいキャラクターが随所でポイントやヒントにつながることを提示することで、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>(2) 防災と安全の特設見開きページやアレルギー代替え食材の記載、「安全」「衛生」「環境」「防災」のマークを設定し、生徒が安全や環境、防災について意識して活動できるように工夫している。</p> <p>(3) 基礎・基本と「参考」「発展」の区分を明確にするレイアウトが設定されるなど利便性を高める工夫がみられる。</p> <p>(4) 各領域とも実習題材が豊富で、特に、B「食生活と自立」では、調理の付け合わせ・応用例を記載し、効果的に学習を進めることができるような工夫がなされている。</p>

別紙1 平成28年度使用教科用図書 研究シート

教科名 (英語科) 分野等 ()

観 点		出 版 社 (開 隆 堂)
1 教科目標の達成及び単元(題材)の構成・配列等	(1) 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 言語や文化に対する理解を深めるために、世界の環境問題、トルコと日本の友情物語、イギリスやフィンランド訪問に関する題材を取り上げるなど、世界や日本の文化等について学ぶことができる工夫がみられる。 (2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るために、「My Project」において既習の学習内容を活用しながら自己表現する活動を設定する工夫がされている。
	(2) 生徒の主体的な学習を促し、発達の段階に応じた目標や、単元(題材)目標を達成するために、単元(題材)の構成・配列等についてどのような工夫がみられるか。	(1) 「Basic Dialogue」で基礎的・基本的な学習内容を理解し、「Listen」「Speak」「Try」「Write」で学習内容を活用して英作文する活動を行うことで各単元の目標を達成できるように工夫されている。 (2) 単元ごとに目標が明記され、「Expression Box」などで参考となる語句や表現を示すなどの工夫がされている。
2 効果的な指導を行うための内容の充実	(1) 習得・活用・探究の学習活動を展開するために、どのような工夫がみられるか。	(1) 基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るために、各セクションの構成や、「Can-Do リスト」で学習の習得状況を確認するページを設定してある。
	(2) 言語活動や教科における指導の充実を図るといふ観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 単元ごとにペアでの対話活動や対話をつなぐ練習、また「WORD BOX」を参考にしながら自分で英文をつくる活動を位置付けるなど、言語活動の充実を図る工夫がされている。 (2) 思考力・判断力・表現力を育成するために「スキット作りを楽しもう」「スピーチをしよう」「CMを作ろう」など自分の考えをまとめて発表する活動ができるよう工夫されている。
	(3) 発展的な学習や補充的な学習、繰り返し学習など、個に応じた指導を行うために、どのような工夫がみられるか。	(1) 自己表現活動を通して、習得した学習内容を発展的に活用できるようにするために「My Project」を単元ごとのまとめりに設定するなどの工夫がみられる。 (2) 各単元の学習が終わる段階で「英語のしくみ」を設定することで、4技能を効率よくくり返し学習できるような工夫がされている。
3 利便性の向上	学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという観点から、どのような工夫がみられるか。	(1) 基本文や対話形式で導入したり、言葉の使用状況の理解を助ける挿絵やコラムでの語彙の解説があるなど生徒が理解することができるような工夫がされている。 (2) 聞くことと話すことを関連づけた練習、発展的な会話活動など段階的に目的に応じた学習活動を設定することで学習効果を高めることができるような工夫がされている。